

Rapport

NOVEMBER 2015 NUMBER

25

「まだ知らないこと」に気持ちをむけること

社会福祉学科講師 岡田 敦史

特集 BOOK HUNTING 2015

看護学科学生 1名 社会福祉学科学生 3名
理学療法学科学生 5名 栄養学科学生 2名

第3回 図書館活用術 看護学科講師 長内 志津子

私の図書館活用術「実習の学びは図書館で深まる！」

特別企画 リポジトリ5周年 スペシャルインタビュー

看護学科准教授 木村 恵美子 元理学療法学科准教授 山下 弘二
社会福祉学科教授 大山 博史 栄養学科講師 乗鞍 敏夫

新企画 自著紹介

栄養学科准教授 浅田 豊 社会福祉学科講師 西村 愛

シリーズ 図書館を使いこなそう

第25回「原著論文の探し方－日本語の文献－」



「まだ知らないこと」「まだ知らないこと」に気持ちをむけぬこと

青森県立保健大学社会福祉学科講師

岡田 敦史

カウンセリング心理学の実践と研究が私の主な領域である。カウンセリングは、来談する人（クライアント）とカウンセラーとの心理的接触（psychological contact）から始まる。具体的に言うと良好な信頼関係のことである。この関係をラポール（rapport）とも呼んでいる。特に子どもの心理療法では、子どもが不安や緊張を感じないように温かく親密な関係（ラポール）の中で、自分自身を表現し始めることが重要になる。

さて、「ラポール」の原稿を書くために図書館について少し調べてみた。すると、図書館について今まで知らなかったことを幾つか発見できた。すでに既知の人々には敢えて取り上げるような発見ではないが、「まだ知らない者」にとっては些細な発見が嬉しい。日常の忙しさに巻き込まれていると、小さなことや、些細だが大切なことを知らぬ間に見過ごしてしまう。高速走行の自動車の車窓からは気づかないが、同じ道を自転車や歩いて通ってみると、見過ごしていた風景や道端の町並みの中に新たな発見があり嬉しくなることに似ている。

ラポールの重要性とともにカウンセリングでは、カウンセラーとクライアント双方の「こころ」に浮かぶ「イメージ」や「連想」を重要視している。自然に浮かぶイメージや連想を大切に、「からだ」全体で感じていると、新たな体験が進展していく。この過程がカウンセリングであるとも言える。

そこで、図書館について調べる途中で発見したことから湧いてきたイメージや連想を二つ辿ってみたい。

成長する有機体のイメージ

図書館は「成長する有機体である」と言われる。成長する有機体とは何だろうと自身に問い掛けてみる。そのイメージは湧きやすい。私のイメージはこんな感じである。広く枝を伸ばし、葉が生い茂る大木である。木陰は絶好の読書スペースである。風にわずかに揺れる葉の間から木洩れ陽がさし、その暖かくほどよい明かりのもとで読書をする。文学でもノンフィクションでも、自身の専門領域に関する研究論文でもよい。読物の内容は興味と関心があるものであれば



なんでも良い。雰囲気を楽しみ、その中に身を置く。その場所では、知的な栄養をますます吸収できる。そよ風を感じるように爽やかな感覚と同時に生き活きと生きている姿が思い浮かぶ。

森林を漫ろ歩くことを「森林浴」と言うように大木をイメージする図書館を漫ろ歩けば「図書浴」と言えるかもしれない。図書館の「知識」を浴び、「知識」と出会うイメージも空想できる。自分自身が既に十分知っていることから、新しい変化は生まれない。図書館で「まだ知らないこと」との出会いには、冒険と同じようなドキドキ感が伴う。

広がり、ゆとりと温かみのイメージ

取り組んでいる研究に行き詰まりを感じ、先行研究に還ることがある。先行研究の引用文献から、関連した知識を深く知りたくなる。今すぐこの引用文献を参照したい。図書館蔵書検索を試みる。検索をして、図書館蔵書としてその文献を見つけた時、宝探しで「宝」を見つけたような喜びを感じることがある。先人が、蔵書として選定してくれた事がとても嬉しく、感謝したくなる。同じように私が選定した図書を、未来の利用者が数年後に見つけてくれ、役に立つかもしれないという期待も湧く。私自身がすでに所有している図書は過去の私が興味を持っていたもの。今の私は新しい何かを求めているとき、現在から未来に繋がるものを図書館は援助してくれる姿が思い浮かぶ。

現在の私の行き止まり感(現在の私の悩み)について解決策を図書館がアドバイスしてくれるわけではない。しかし、図書館が持っている「広がり、ゆとり、温かみ」は、ラポール関係の中で進展していくカウンセリングと同じである。現在から将来へつながる方向性を私自身で発見するために援助的環境として存在しているのである。



BOOK HUNTING 2015

学生による選書、ブックハンティングは今年で5回目。
今回はインターネットでの選書を選択肢としてプラスし、
なかなか書店には足を運ばなくて…という学生さんにも参加していただきました。
新たに図書館の仲間入りを果たした本たちを、特集で紹介します。



ブックハンティングに
参加してみて

社会福祉学科 4年



『わたしの心のなか』

シャロン・M・ドレイパー作
横山和江訳
鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち
鈴木出版
933.7||D91



『アラスカの小さな家族: パラードクレークのポー』

カートパトリック・ヒル著
レウイン・ファム絵
田中奈津子訳
講談社文学の扉
講談社
933.7||H58

初めてブックハンティングに参加させていただきました。最近では自分で本を買って読む時間がなかったため、ブックハンティングを通して本を読む機会ができた事はとてもうれしく思いました。私が今回選んだ本はどちらも絵本です。絵本は子供のころ一度は誰もが手にした事があると思います。「わたしの心のなか」、「アラスカの小さな家族」ともに小学生高学年向けの本のため少し空いた時間で読むことができると思います。また、「わたしの心のなか」は障がいを持つ子供の話、「アラスカの小さな家族」は血のつながった親がいない子供の話と、ただ絵本として読むだけではなく様々なことを考えさせられる本だと思います。図書館での勉強の合間にでも少し手に取っていただけたらと思います。



『なぜ日本人は、こんなに働いているのにお金持ちになれないのか? : 21世紀のつながり資本論』
渡邊賢太郎
いろは出版
337.1||W46



『「仕事の基本」が身につく本 : この1冊でOK!』
古谷治子
かんき出版
336.47||F95



『はじめての経済学』上
伊藤元重
日経文庫
日本経済新聞社
331||I89||1



『「好評」ばかり集めました!おかず 800品』
GAKKEN HIT MOOK
学研パブリッシング
498.5||Ko95



『おいしさのコツが一目でわかる★★基本のお菓子』
小田真規子
成美堂出版
498.5||O17



『50円100円のできる節約おかず630品!』増補決定版
GAKKEN HIT MOOK
学研パブリッシング
498.5||G58



栄養学科 2年

今回、初めてブックハンティングに参加しました。私が選んだ本は、「なぜ日本人は、こんなに働いているのにお金持ちになれないのか?」、「仕事の基本が身につく本」、「はじめての経済学[上]」、「好評おかず800品」、「基本のお菓子」、「50円100円のできる節約おかず630品!」の計6冊です。特に、「なぜ日本人は、こんなに働いているのにお金持ちになれないのか?」という本は、日本人は、「お金は汚い」という先入意識が働いて、お金についての仕組みを他の国の人々より理解していない、その結果、お金に関して諸外国の人々より損をしているという事実を、お金と密接に関わる社会の仕組みを通して読み手へと伝えてきています。損のないお金の使い方というものがあるのか知るために、一度読んでみてはいかがでしょうか。



社会福祉学科 2年

Y・Y

本が好きになったきっかけ

今回、初めて『ブックハンティング』に応募し参加しました。参加の理由は、自分が選んだ本が図書館に入るということ、図書館の本を充実させることに貢献できることに魅力を感じたからです。図書館には無い自分が読みたい分野の本を入れることは、自身の勉強にも役立ちました。自身で選んだ本であるため、その本に対して愛着とこの本を最後までしっかり読み込みたいと思う気持ちになりました。



『面白いほどよくわかる! 犯罪心理学』
内山 絢子監修
西東社
326.34||O63

心理学に興味があり、中でも犯罪心理学について学習したいと思っていたためこの本を選んだ。この本はイラストや図が多く使われている本であるため、頭の中でイメージしながら勉強することに便利である。また、少年非行や更生についても触れられており、児童福祉や更生保護などの学習にも役立つ本である。



『自閉症の僕が跳びはねる理由: 会話のできない中学生がつづる内なる心』

東田直樹
エスコアール出版部
378||H55||1



『続・自閉症の僕が跳びはねる理由: 会話のできない高校生がたどる心の軌跡』

東田直樹
エスコアール出版部
378||H55||2



『天才と発達障害: 映像思考のガウディと相貌失認のルイス・キャロル』

岡南
こころライブラリー
講談社
141.18||O36

この本は天才と呼ばれたアントニオ・ガウディとルイス・キャロルの2人を例に挙げて紹介している。この2人は一般の人とは違った物の見方をすることが出来る人間だった。人は自身の物の見方と他人の物の見方を一緒だと考えているが、これは間違いであると筆者は述べている。発達障害者の物の見方とそうでない人でもこれはありえることであり、見方が違うことを意識することで発達障害者への見方を変えることが出来る。



『自傷・自殺する子どもたち』

松本俊彦
子どものこころの発達を知るシリーズ
合同出版
493.937||Ma81

この本は自閉症の筆者が筆談というコミュニケーション方法を用いて、筆者自身の考えや気持ちを質問に回答する形で書かれた本である。この本を読んで初めて自閉症の人の気持ちを知ることが出来た。自閉症の人もそうでない人と同じように考え意見を持っていることを実感させられる。むしろ自閉症の人が物事に真剣に取り組んでいることに気が付かされ、自閉症の人に対する見方が変わる本だ。また、本の中では筆者が作った詩も載っており、その才能にも驚かされる。



『少年たちの贖罪: 罪を背負って生きる』

青島多津子
日本評論社
368.7||A56

罪を犯してしまった少年たちは彼らなりに反省し、自身の罪について深く考えている。この本では犯してしまった背景にも触れられているので、どうして少年が罪を犯してしまったのかを考えることがしやすい本である。少年たちの犯罪をする理由、原因はさまざまであるが決して普通の少年と変わらないのである。彼らの反省の心を垣間見ること罪を犯してしまった少年たちのことについて考えることが出来る本である。

自傷行為をする理由は他者に対するアピールのために行われると考えている人が多いのではないだろうか。しかし本当は自分ではどうしようもない苦痛を見える傷にするために行われている行為である。また自殺と自傷行為は別物である。自傷行為に対しての支援の誤り、家族ができる支援の仕方についても書かれている。自傷すること、なぜしてしまうのか、どうしたら自傷から離れられるのかについて考えることが出来る本である。

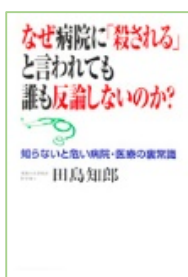


自分が興味を引かれた本を、誰かが同じように興味を持ち手に取ってくれる。

「誰か」は顔も名前も知らない人かもしれない。

そんな誰かと「その本に対する興味」で繋がることができる。

ちょっと某「耳をすませば」のようで素敵な企画だと思いました。



『なぜ病院に「殺される」と言われても誰も反論しないのか? : 知らないといけない病院・医療の裏常識』

田島知郎
青萌堂
498||Ta26

日本の医療体制を批判的にみてる。こんな視点もあると知るのも一理だと思いました。



『点滴ポール : 生き抜くという旗印』

岩崎航著
齋藤陽道写真
ナナロク社
911.56||I96

“管をつけると 寝たきりになると 生きているのがすまないような 世の中こそが 重い病に罹っている”

4歳で筋ジストロフィーと診断された岩崎航さんの詩集です。死を考えた時期を経て、詩を書き始めます。



『百歳』
柴田トヨ
飛鳥新社
911.56||Sh18



『くじけないで』
柴田トヨ
飛鳥新社
911.56||Sh18

百歳の詩人、故柴田トヨさんの詩集です。百歳の方が言う「あなたもくじけないで」の言葉には説得力があります。



『70年目の恋文』
大櫛ツチエ
悟空出版
289.1||O57

「恋人から始めようね」。結婚式で初めて顔を見た夫は一年後に赤紙が届き戦地へ。そのまま戦病死。

妻の大櫛ツチエさんは夫の死を知った70年後に夫へ宛てた恋文を書き始めます。

「貴方！！」で始まる、夫への思いが溢れた甘酸っぱい詩集です。



『野原ひろしの名言：「クレヨンしんちゃん」に学ぶ幸せの作り方』
大山くまお
双葉社
159||O55



『野原ひろしの超名言：「クレヨンしんちゃん」に学ぶ家族愛』
大山くまお
双葉社
159||O55

父、ヒロシ。漢（おとこ）です。意外と深いこと言ってる。



『朽ちていった命：被曝治療 83 日間の記録』

NHK「東海村臨界事故」取材班
新潮文庫
新潮社
493.195||N71

本学の選択授業「災害看護学」の課題で観る映像の書籍版です。

映像ではカットされていた、家族やケアにあたった看護師の思いなども少し詳しく書かれています。



『一〇三歳になってわかったこと：人生は一人でも面白い』
篠田桃紅
幻冬舎
914.6||Sh66

“ひとりで生きる”とは？103歳の美術家・篠田桃紅さんの人生哲学がまとめられています。



『ねこの秘密』
山根明弘
文春文庫
文藝春秋
645.7||Y36

ねこってどうしてあんなに可愛いのか？

猫が飼われるまでの歴史、野良猫の一生、猫の感情…等、猫の生態を研究している筆者が、猫について述べています。



『雑談力が上がる話し方：30秒でうちとける会話のルール』
齋藤孝
ダイヤモンド社
809.2||Sa25



『池上彰のやさしい教養講座』
池上彰著
日本経済新聞社編
日本経済新聞出版社
304||I33



理学療法学科 3年

一般教養的な現代史についてと雑談力についての2冊の本を読み、世代の違うことが多い患者さんたちとのコミュニケーションをより円滑に進めるヒントになったのではないかと感じました。

今回初めてブックハンティングに参加し、インターネットでの購入が可能となったためとても参加しやすかったです。



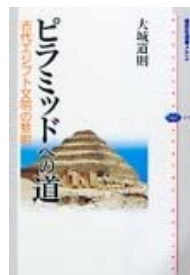
理学療法学科 3年



『野良犬トビーの愛すべき転生』
W・ブルース・キャメロン著
青木多香子訳
新潮文庫
新潮社
933.7||C14

野良犬トビーの愛すべき転生を読んで…

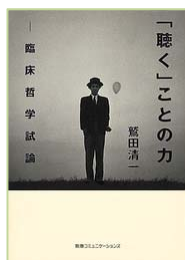
野良犬トビーが何度も生まれかわり、人の愛を学んでいく物語で心が暖かくなりました。小説全体が犬目線で書かれているので、犬を飼っている、犬好きな方は必見です。涙覚悟です。



『ピラミッドへの道：古代エジプト文明の黎明』
大城道則
講談社選書メチエ
講談社
242||O77

ピラミッドへの道を読んで…

もともとピラミッド好きということもあり読んでみることにしました。古代エジプト文明は神秘的なことばかりですが、今までに研究されてわかっていること、いまだに解明されていないこと、いろいろ考えて読んでいくうちに引き込まれていきそうです。エジプト系が好きな方は小説だけでは物足りなくなることも間違いなしです。



『「聴く」ことの本質：臨床哲学試論』
鷺田清一著
阪急コミュニケーションズ
104||W42



ブックハンティングを終えて

栄養学科 2年

今回、初めてブックハンティングに参加しました。多くの本の中から自分のほしい本を選ぶのは難しかったですが、悩みながらも好きな本を選ぶことができよかったです。選んだ本は私

が好きな作家さんの本です。どの本もとても面白い本なのでぜひ読んでみて下さい。自分が選んだ本をきっかけに読書に興味を持ってもらえればいいなと思います。



『とんび』
重松清
角川文庫
913.6||Sh28
(C)角川書店



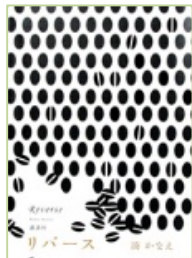
『かあちゃん』
重松清
講談社文庫
講談社
913.6||Sh28



『みぞれ』
重松清
角川文庫
913.6||Sh28
(C)角川書店



『豆の上で眠る』
湊かなえ
新潮社
913.6||Mi39



『リバーズ』
湊かなえ
講談社
913.6||Mi39





『あなたは どう見られているのか : 2つの強みから導く、あなただけの魅力』
サリー・ホッグスヘッド著
白倉三紀子訳
パイインターナショナル
141.93||H81



『半島を出よ』上
村上龍
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||Mu43|1



『半島を出よ』下
村上龍
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||Mu43|2



理学療法学科 3年 A・U

ブックハンティングの感想

今回ブックハンティングは3度目でしたが、初めてインターネットからの方法で参加しました。書店までは遠く、行くのが大変ですが、インターネットだと家や大学から手軽に参加できるのでとても助かりました。また、書店に置いていない本でも選ぶことができ、選択肢が広がったように感じました。また来年も参加したいです。



『社会福祉法人設立・運営の手引き : これから社会福祉法人を設立しようとする方に』2014年版
東京都社会福祉協議会
東京都社会福祉協議会
369.1||Sh12||2014



『児童の権利条約 : その内容・課題と対応』
石川稔/森田明編
一粒社
369.4||I76

私は、今回のブックハンティングで「社会福祉法人設立・運営の手引き—これから社会福祉法人を設立しようとする方に」「児童の権利条約—その内容・課題と対応」の二冊を選びました。自身が興味や関心を抱いた分野の本を選択することができ、とても楽しかったです。また、この本を探す過程で、図書館にある本を避けるために多くの本を読んだことで、大学の図書館

にはどのような本があるのかを知るきっかけにもなりました。

普段図書館に立ち寄ることがない方でも、自分の興味のある分野の本を読むきっかけにもなると思います。ぜひ多くの方にブックハンティングに参加してほしいと感じました。

ブックハンティング

理学療法学科 3年 Y・K

ブックハンティングに参加するのは今回で3回目となります。自分が読みたい本を読めるという点と、それを図書館を利用するみなさんにも読んでもらえるという点で、貴重な機会だと感じてます。毎回友人と参加していますが、なんの本にしようかと、話し合いながら楽しく本を選んでいきます。

今回私は3冊の本を選ばせていただきました。読書芸人で紹介された『教団X』や、アニメ化されている有頂天家族など他にも面白い本を書かれている森見登美彦さんの『四畳半神

話大系』、小学館文学賞受賞の『ヒトリコ』。内容については本を読んで楽しんでもらうために割愛しますが、これらの本はどれも読み応えあるものです。ぜひ読んでみてください。



『教団X』
中村文則
集英社
913.6||N37



『四畳半神話大系』
森見登美彦
角川文庫
913.6||Mo54
(C)角川書店



『ヒトリコ』
額賀滯
小学館
913.6||N99





『ICO:霧の城』
宮部みゆき
講談社ノベルス
講談社
913.6||Mi71



『星の巡礼』
パウロ・コエーリョ著
山川篁矢/山川亜
希子訳
角川文庫
969.3||C83
(C)角川書店



『悪童日記』
アゴタ・クリストフ 著
堀茂樹訳
ハヤカワ epi 文庫
早川書房
953.7||Kr5



『ふたりの証拠』
アゴタ・クリストフ 著
堀茂樹訳
ハヤカワ epi 文庫
早川書房
953.7||Kr5



『第三の嘘』
アゴタ・クリストフ 著
堀茂樹訳
ハヤカワ epi 文庫
早川書房
953.7||Kr5



インターネットを使用すれば本屋まで移動する必要がないので、互いに時間の都合が合わなくても可能であることや、自分の好きな時に中断・再開できるため一度に選ばなくてもいいのでゆとりをもって行えると思いました。

また、私が探していた本はTVゲームが原作となっており、今まで行った本屋では置いていなかったのですが、インターネットではすぐ見つけられ、今回注文することができました。私た

ちの年代はネット検索や通販を日常的に利用している人も多いと思うので、このブックハンティングの方法はとても良いと思いました。

『ICO-霧の城-』は上記のゲームが原作の小説です。宮部みゆきさんの小説は初めて読みましたが、ゲーム中ではほとんど喋らなかったキャラをととても魅力的に書かれていたり、作中説明のなかった設定が物語に盛り込まれていて新鮮な場面も多くとても面白かったです。

看護学科講師

長内 志津子

後期がスタートし、初めての実習を前にドキドキしている学生も多いのではないのでしょうか。今回は専門性を深める図書館活用術、特に実習中の図書館の活用についてお話しします。

実習は、本学の学生にとって専門性を学ぶ上で切り離せない存在です。大学の授業で基礎的な学習をして実習を行っているものの、実際の対象者を理解するのはなかなか難しいものです。私自身も学生時代に実習をしてみて、現実の対象者は疾患・生活背景・心理状態も複雑で、様々な視点が必要だと気づかされました。実習に行ってみると授業で使った教科書・テキストだけでは、対象者の個別性に配慮した方法で援助することができず、悩みました。

そんな時に役立つのが、専門雑誌の情報です。専門雑誌は焦点を絞ったテーマを扱った記事が多く、さらに最新の情報が掲載されています。また、専門雑誌は図書館で貸し出しを制限していることもあり、本に比べると図書館内で見つけやすいのも実習中のメリットです。雑誌内の利用したい箇所を図書館内でコピーし、受け持ち対象者への援助やケースレポートの作成などに活用すると便利です。最近では学生を対象にした雑誌も増え、実習だけではなく国家試験へ向けての学習や、就職活動の参考になる情報も収集しやすくなりました。図書館の活用から少し脱線しますが、実習が多くなる大学3・4年生のタイミングもしくは社会人になったら、自分の関心に合った専門雑誌の定期購読をお勧めします。実習や国家試験の学習のペースメーカーとなる上、専門職に就いてからも新しい情報を得ていく機会になります。雑誌を通して感じた疑問を、図書館でさらに調べ、深めることにもつながります。

実習で出会った対象者との体験は、私たちの一生の糧になります。自分の実習体験と図書館を通して得る“知”とを結びつけることで、実習の学びは深まり続けます。これから始まる実習で、ぜひ試してみてください！充実した実習になりますように。応援しています！



青森県立保健大学 リポジトリ5周年

スペシャル
インタビュー

青森県立保健大学リポジトリは2015年6月15日に正式公開5周年を迎えました。
リポジトリに論文を提供して下さった先生方のスペシャルインタビューをお届けします。

木村 恵美子

看護学科 准教授

青森県立保健大学リポジトリ
5周年インタビュー



1998年 日本大学文理学部英文科(通信課程)卒業 学士(文理学)
2000年 聖路加看護大学博士前期課程修了 修士(看護学)
2015年 聖路加国際大学 看護学研究科博士後期課程修了
博士(看護学)
2000年～ 青森県立保健大学

看護
学科

専門分野について

図書館(以下「■」)「ご専門の分野について教えてください」

木村先生(以下「先生」)「科目で言うと基礎看護学分野はもちろんですが、「コンプリメンタリーセラピー」ですね。看護代替療法もしくは補完療法って言います。その中の“ホリスティックナーシング”については自分の中ではホットな部分で本腰入れて勉強しています。

あと、臨床での専門はがん術後に起こるリンパ浮腫というのがあって、その発症や悪化予防のためのケアを専門とし



弾性ストッキングや弾性包帯など、リンパ浮腫の圧迫療法に使用されるツールを教えてください、実際に触らせていただきました。

てやっています。実習指導に行く以外の月を除いて、ユニフィケーション※として施設のリンパ浮腫外来でむくみ軽減のためのリンパドレナージやバンデージ(圧迫療法)、生活指導など外来看護師さんと一緒にしています。ここ(先生の写真の後ろ側のカーテンがかかったキャビネット)にあるものは、全部そのために使うものなんですよ。

このむくみのケアをする外来が、今年12月に西北地区(つがる西北五広域連合つがる総合病院)で始まるので、その準備・開設の手伝いもしています。今年6月から八戸でもスタートしました」

※ユニフィケーション…1960年代後半の米国において、看護教育と看護サービスの乖離が問題として指摘されたことをきっかけに提唱された理念及び取り組み。その理念は、看護実践・教育・研究が連携することによって、看護教育及び看護サービスの質の向上を図るというもので、看護におけるユニフィケーションは、「看護サービスと教育・研究の責任を一つの管理組織に所属させること」と定義されることもあります。日本においても、1980年代以後米国の取り組みが紹介されました。

現在の研究との出会い

■「では、先生がそのご研究を選ばれた理由を教えてくださいませんか？」

先生「私は新卒で消化器系外科に配属されて、がんの専門とやって、あと急性期が多かったの。急性期っていうのはICUとかCCUとかでね、救急室とか手術室も長かった。

それから大学院に行って、本学に就職したの。その時に小坂橋先生(現・京都橘大学)や河内先生(治療室シーズ院長)が「コンプリメンタリーセラピー」を教えにきてくださっていた。

私が消化器系外科に入った頃は、乳がんの患者さんがむくんだときに軽減するケア方法がなくて、ただむくんだ手を少し挙げるためにタオルや枕とかに置いていた程度だった。何とかしたいなと思ってずっと思っていた。その「コンプリメンタリーセラピー」の中で、むくみに効果的なリンパドレナージというのがあるということを知っていただいた時、『あっ！今はそういうのがあるんだ』っていうのが出会いでした。昔、パーンと

腫れた腕や手を何とかしたいなって思っていたことに対するやり方を知ることができて嬉しかった。でも、まだその方法は日本に普及してなくて、がんの術後にむくみで苦しんでいる患者さんは多いままだった。

それから、いろいろセラピストの資格を国内や国外（ドイツ）に取りに行ったりとかして今にいたるって感じですかね！」

■「では、今はどんな研究をされていますか？」

先生「リンパ浮腫っていうのは先天性もあれば、続発性といって手術とか火傷とか事故でもなったりとかいろいろあります。主にがんの患者さんのむくみの発症予防と悪化予防を今研究しています。

予防するためには、その原因が何かっていうのを明らかにしないとイケないから、その研究をこの間3月にまとめ上げたので今論文を投稿しようと思ってやっているんだけど、遅々として進まないっていうのが現状(笑)

まとまったらまた(リポジトリへ提供します)でよろしくお願ひしま〜す」
■「ぜひ〜！」

患者さんの言うことや本当に見たものが統計学的に有意な結果に

■「先生のご研究のおもしろさと難しさを教えてください」

先生「外来で患者さんにドレナージしている時にね、『あれが原因だと思わ〜』ってぼつぼつ言われたことやインタビュー調査でまとめた患者さんの言葉を質問紙の中に組み込んで、量的研究でデータ収集して、統計学的に有意に出たり、でなかったりする。**患者さんの言うこととか本当に見たもの(観察)**っていうのは、…なんか言い方がちょっと思い浮かばないけども、研究的に事実が明らかになるとするのは**すごく大事な**なって思うし、おもしろさでもある。

質的な研究だけだとケアの効果を納得してもらうのは難しく、やはり量的な研究をして統計学的に示した方が分かってもらいやすい。効果があるならば

やってみようって人が動かし、制度が作られたり、ケアの根拠としてテキストに載せて示すこともできる。

リンパ浮腫ケアに対する診療報酬が検討されるという動きがありますが、事前に関連文献の提出を学会から求められていたこともあり。研究って個人的な興味だけでなく、社会にも大きく影響することを考えると、研究には「おもしろさと難しさ、そして責任」があると思います。

あと、学会などでも同じ研究してる人と知り合って繋がるじゃないですか。セラピストの仲間とか。難しい症例の相談ができたり、ケアの工夫を考えていけるという点で心強いし、そういう交流が楽しくもある。以前、本学で7年間私がリンパ浮腫研修会をやっていましたが、今は青森県看護協会で開催してくださっています。そこでは講師として協力していますが、研修会にきてくださる県内の看護師さん達とも知りあえるし、セラピスト資格を取りたい看護師さんたちに要点を教えたり、リンパ浮腫ケアをどんどんやれる人が増えていくっていうのはすごく楽しいこと」



先生が手にしているのはスタートアップフェスタで使用するモーリーとリンリンですが、研究室を掃除したら今は使われてないガラス製の注射器(50ml用)が出てきた！と見せていただきました。一箱の中。

研究に欠かせないもの

■「それでは、先生がよく使われるツールはありますか？」

先生「図書館系のツールってことだよな？」

■「でもいいですし、先生の研究にこれが欠かせないのよね〜っていうのがあったら、それを教えていただいても」

先生「欠かせない!?使えるツール…」

■「このストックキングとかありますけど」
先生・■(笑)

先生「ケアに使う包帯は山ほどあるよ！図書館系でいうとPubMed*よくひきます」

*PubMed(パブメド)…米国国立医学図書館(NLM)が作成・無料公開している生命科学系の文献データベース。

■「統計ソフトは、SPSS*使われます？それ以外のものも使われますか？」

先生「SPSSを使うかな！」

*SPSS(エスピーエスエス)…統計データソフトの名称で、 χ^2 乗検定で統計学的に有意な差が生じるか確認したり、回帰分析で信頼区間を出したりすることができます。

論文は読まれてなんぼ／煮詰まっていたところの一文が書けたり

■「話は変わりますが、投稿されるときに、オープンアクセスは意識されるものでしょうか？」

先生「意識します」

■「おお！」

先生「それはしています。だって読みたい側は便利だし、論文を出す側としては**読まれてなんぼ**…って思ってるから…。

私は慢性浮腫やリンパ浮腫専門の『国際リンパ浮腫フレームワークジャパン』っていう研究協議会の理事をやっています。学会誌の『リンパ浮腫管理の研究と実践』を作る時に、最初からオープンアクセス出来るようにWEBのバージョンを意図して作りました。

他の理事の先生は査読は大事だけれど、一番の査読者は【読み手だ】って仰っていて、論文の良し悪しはその読み手がクリティークをどうするかで鍛えられていくもんだって。なるほどと思いました。

学会発表したら終わりじゃなくってね、言葉にして読んでもらうことで伝えることは多いです。

オープンアクセスって、臨床の人たちもどんどん引けるじゃないですか。ネットで引けて、読みたい時に得られるっていうのはいいですよ

■「はい」

先生「文章が思い浮かばない時に、研究室で悶々としててね、ピターっとくる言葉を見つけてマーカーを引く。それでやっと、**煮詰まっていたところの一文が書けたりとか、良い論文に出会えた時とかってというのは参考になるという意味で本当に助かる。**知らなかったことを知ることができるっていうのはうれしさを覚えます」

これからの図書館について

■「それでは、これからの図書館については、いかがでしょうか」

先生「私はこの間大学院(博士課程)を修了したばかりなんです。おこがましいんですけども、うちの大学って意外と進んでいて他の図書館に比べると、例えばリポジトリもそうでしたし、聖路加(聖路加国際大学大学院)※に行ってたんですけども、同じサービスくらいなんですよね」

■「え～!!!?」

※聖路加国際大学…図書館のサービスのレベルが高いことで有名なので、私たちは少しでも近づけるようにがんばっています。

先生「大学院生とか学生たちに図書館の利用とかガイダンスとかっていうのも、しっかりとしていて内容も十分だし。

あと、なんだっけ、図書館に鳥がいま

したよね!飛んでたでしょ!」

■「トリゾウ※ですか?」



※トリゾウ…図書館の広報キャラクター。

先生「あー!トリゾウとか〜」

■「ありがとうございます!」

先生「なんかね、本の貸出・保管業務だけでなく、動きのある図書館っていいなあって♥。例えばこういうふう動いているじゃないですか、インタビューとかね、5周年記念とかね…これらのデザインはすごく素敵だった。私の中では Good job!って言いたかった」

■「ありがとうございますー!!!」



過去のオープンアクセスウィークの広報グッズを保管してくださった木村先生

後ろに本棚をかかえる

先生「話は変わるけれども、私、小学校の時からずっと本が好きで。で、昔って(図書館の本を借りるときは)図書カードに本の名前を書いてたんですよ」

■「はい」

先生「その年代?通じる??」

■「大丈夫です」

先生・■(笑)

先生「そう、その図書カードが一番厚くて、私が一番読んでるからって図書委員長になったのね」

■「すごい!」

先生「だからその頃は本をいっぱい読めば委員長になれるんだ〜っ☆って思って育ったの。今は、ネットでも引けたりとかスマホですぐに読むことができるけど、**後ろに本棚をかかえるっていうのはやっぱり存在なんだな**って思うんです。

蔵書している図書館に行けば必ずなにかがあるっていうことでは、やはり知の保管庫の役目があると思う。

自分たちがわからないことはそこに行けば何か見つかる・教えてもらえるところ。本の虫だったので本があるところは個人的には好きです」

これからの夢

■「では最後に、先生のこれからの夢はなんですか」

先生「私の専門や研究の夢は、青森県にむくみのケアをする外来が増えて辛い思いをしている患者さんが少なくなることです。そして今はリンパ浮腫ケアを行うと診療報酬はつかないので、1時間で5000~6000円くらいを自費で払うんです。早く診療報酬がつくようになって3割負担とかになってほしい。

私が大学を退職した後も、どこかのリンパ浮腫外来で「今日は何人かな?」って、患者さん達にリンパドレナージをし続けていたいなと思っています」

先生・■(笑)

先生「以上です」

■「ありがとうございました」

◆木村恵美子先生の最新論文

Kimura E: Qualitative research for risk factors of lymphoedema among nine breast cancer survivors. *Lymphoedema Research and Practice*, 2(1), 10-16, 2014

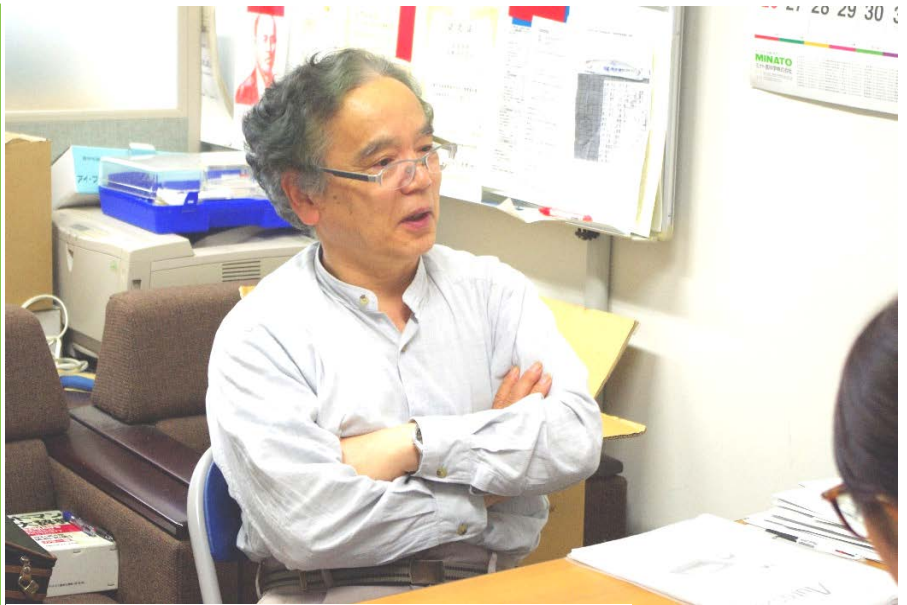


<http://ilfj.jp/1kaishi/kaishi.html>

山下 弘一

元理学療法学科 准教授

青森県立保健大学リポジトリ
5周年インタビュー



1999年～2015年 青森県立保健大学
2006年 弘前大学大学院医学研究科修了 医学博士

理学療法学科

体の中のいろんな障害をリハビリテーションの立場からよくする

図書館（以下「■」）「まず先生のご専門の分野についてお聞きしますが、内部障害の理学療法というと、具体的にはどんなかんじですか？」

山下先生（以下「先生」）「内科系っていうのか、体の中のいろんな障害をリハビリテーションの立場からよくするっていうか、治していくような分野ですけれども」

■「その時の理学療法は、どんなことをされるんですか？」

先生「臓器のどこに障害があるかによって、割と身体障害は手足の運動機能の障害でわかるんですけども、内科系の場合はなかなか外見を見てもわからないっていうかね、そういうところがちょっと最近注目されるようにただけども、今までは理学療法士が少なかったせいかまだまだでした。そういう呼吸とか心臓とかですね、呼吸・循環・代謝関係なんですけどね。いろいろ障害を治すと、リハビリテーションの介入で治すという形ですけども」

『ごっくん』は吐く力、『はくしょん』は吸う力／肺炎は夜作られる

■「それでは、先生がご専門を選んだ理由について教えてください」

先生「学生時代にあった熱心な教員と臨地実習地の指導教員に影響を受けたからです」

■「先生がめぐりあった先生方というのはどんな感じの先生でしたでしょうか」

先生「やっぱり学生時代の学校の興味を持った授業や実習の先生や臨床実習だったかな。私の学校は大学なかった時代ですから専門学校だったんだよね。昔、結核がはやったなかで呼吸器疾患の結核後遺症がすごく多い時代でね、その中でも学校が清瀬ってところで、東京都内でも結核後遺症の人が療養してる病院が多かったんですよ。たまたまそういう病院が近くで、実習とか教育受けたから呼吸に興味を持ったというところから始まったんですよ。」

そのあと、進行性筋ジストロフィーとかね、あれも最終的には呼吸筋が萎縮から呼吸不全起こして感染で亡くなるということが多くいね。

最近では、脳卒中の呼吸障害というこ

とで、脳卒中の方っていうのは誤嚥性肺炎っていうのが多いね。その大部分は嚥下筋や呼吸筋の問題で飲み込む時に、食べたものや、唾液、胃内容、さらに痰とかそういうのが、気管支に入っていくのね。気管にふたがうまくできないの。食べたものはふつう胃に行くでしょ？ふたが素早く筋肉でコントロールする反射がうまくできるから、そういうものが気管支に入っていくんだけど、誤嚥する人は気管支に入っていくやすい。完全に気管支にふたができないこと。そして、入っても咳ができないから入りっぱなしというところで、嚥下筋と咳の重要な筋でもある呼吸筋がうまく働かないと誤嚥性肺炎になるっていわれてるんだよね。肺炎今3位かな4位かな？」

■「3位でした」

死因順位	死因	平成14年 (2002)		19年 (2007)		24年 (2012)		25年 (2013)		26年 (2014)	
		死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
第1位	悪性新生物	304,568	539,483	悪性新生物	539,483	悪性新生物	539,483	悪性新生物	539,483	悪性新生物	539,483
第2位	心疾患	152,518	175,539	心疾患	175,539	心疾患	175,539	心疾患	175,539	心疾患	175,539
第3位	脳血管疾患	130,227	127,141	肺炎	123,955	肺炎	123,955	肺炎	123,955	肺炎	123,955
第4位	肺炎	97,451	113,159	肺炎	113,159	脳血管疾患	121,602	脳血管疾患	119,347	脳血管疾患	118,000

注：平成13年までは確定値、平成14年は推計値である。

厚生労働省「平成26年（2014）人口動態統計の年間推計」結果の概要より



先生「だんだん順位が上がってきてるからね。大部分は、誤嚥性肺炎なんです。感染、細菌とかウイルス性の感染でも痰が出せないから、亡くなるケースが多いですからね。それらの理由で、誤嚥性肺炎をどのようにしてリハビリテーションで防げるかというテーマが最近の研究ですけど」

■「先ほど誤嚥性肺炎には嚥下筋と呼吸筋が関係しているというお話がありましたが、どうやって測定するのかなと思って…イメージがあまりできなくて」

先生「呼吸筋力計ってあるんですよ。機械ですけどね。口腔内圧で計るんですよ。基本的には。結局、思いっきり吸わせて思いっきり吐かせて最大の圧を計るんですよ。そうすると、口腔内圧と比例してるから」

■「そのやり方って、肺活量を計る時の…?」



先生「肺活量は空気抜けるでしょ、ずばっと容量と流速で計るでしょ。呼吸筋力計は空気が抜けないんですよ。圧センサーで計るから、吹く圧と吸う圧で計るんですよ。それで呼吸筋力の代用としてるんですよ。腕とか足の筋力のように、直接、呼吸筋の力を計れないのですね。それで、口腔内圧の吸気圧と呼気圧の最大値で計るんですよ。それが今から20年くらい前かな、そういう小型の測定機器が出てきて計れるようになった。口腔内圧で計るんですけどね。ただ、口腔内圧で計る利点として嚥下筋の機能もある程度見られるんですよ。発声も声帯の力や、口腔機能がないと口腔内圧も少なくなってきましたからね。だから口腔内圧で呼吸筋計った方が嚥下能力もある程度見られるので、いいかもしれないね。」

結局、嚥下機能と嚥下反射ですけどね、気管支にふたをする速さなんです。気管にふたをする速さが遅くなると誤嚥性肺炎になりやすくなっちゃう」

■「そして咳が弱いと…」

先生「咳が弱いと、気管支に異物が途中までいったところに入りそうときにゴホンと反射で出すんですけども、そういうところが鈍かったり弱かったりすると、誤嚥性肺炎になりやすいと言われていきます」

■「先生のご研究で、筋肉量だけでなく呼吸筋の筋力と栄養状態が関連してくるってところがよくわからないのですが…」

先生「それはあの、嚥下障害がある人は絶食ですからね」

■「ああ～！そうですよ」

先生「悪循環に入っていくんですよ。絶食で点滴とか、胃瘻、胃に穴を開けてチューブで入れてやると。なかなかその、十分な栄養摂取と吸収ができないからね、栄養不良になると呼吸筋が委縮してきますから。呼吸筋ってかなり栄養を使うんですよ」

■「そうなんですね。ずっと動いてますもんね」

先生「だから、サルコペニアって最近言われてるでしょ。筋肉減少症。だから骨格筋の減少だけでなく、そういう嚥下筋とか呼吸筋もそういうサルコペニアが起こるといわれているんですよ。サルコペニアは、筋肉を手足だけでなく、最終的に残されたところのは食べる力、呼吸する力ということですよ。手足が動かなくても呼吸できる、もの食べられるってことが最終的に残された筋肉の機能だからね。そこらあたりを確保しないと、お年寄りが快適に（暮らせない）ね。手足弱くなくても、もの食べられるとか、呼吸できれば、生きていけるわけですからね。そういうところを、リハビリテーション、特に理学療法士ができる方法がないかということで、呼吸筋トレーニングとかね腹筋部を鍛えとかね。」

咳は腹筋が重要なんです。呼吸筋も吸う方と吐く方も重要ですけど、吐く方が主に歳とともに一気に落ちてくるからね。吐く方が大事なんです。嚥下もね、吐くときに『ごっくん』があるから。『ごっくん』は吐く方なんです。吐くときに呼吸筋が飲み込みも多少介助しているからね、協調して働いてるから、呼吸筋って重要なんです。思ったより。咳するにしても呼吸筋だし、その前に『はくしょーん』する前はいっぱい吸っ

てから『くしょーん』ってするでしょ。だけどまあ、咳はやっぱり呼吸筋が非常に重要である。

そして、飲み込む時も呼吸筋が重要だ。呼吸と嚥下と一緒にになっていくわけだね。吸ったときにものを食べるでしょ。吸うとものを一緒に食べると器官に入っちゃうでしょ。だから、しゃべりながらものを食べるとむせるときがある。あと飲みながらね。だから、呼吸と嚥下っていうのは重要なんです。協調がね、一緒にやっちゃうと、吸ったときにもの食べてると気管支に入っちゃう。その辺の協調がね、うまくできないと、我々だって結構むせたり気管支に入っちゃってね。だけど、お年寄りの場合は、なかなかむせない咳できない、入ってもわからない。結局、なんも食べてなくてもね、口の中のばい菌や胃内容がね、胃液とか食べたもの逆流とかね、寝た状態のとき入ってっちゃうんですよ、意識なく。だから、食べてなくても肺炎は夜作られるわけですよ」

■「へえ～！（驚）」

先生「だから、胃の中の胃液が肺に入っちゃうと、酸だからすごい炎症を起こしちゃうの。そこら辺のちょっとね、反射機能とか強さをね、リハビリでなにかできないかということでトレーニングを考えている。自分でできない場合は、咳や嚥下をするための筋に電気刺激する。お腹のまわりやのどに電気」

■「お腹に電気刺激をすると？」

先生「腹筋強くなるでしょ。結局、平均以下の人って腹筋トレーニングできないでしょ。我々、ぐっと起きられるけども、ある程度以下のレベルの人っていうのはなかなか腹筋トレーニングできないから、そういう電気で。あと、嚥下筋ね、刺激したり。」

だから、なかなか自分でトレーニングやろうという意欲がない人とか弱い人は、そういう電気刺激の方がいい。

なおかつ、できるだけ栄養摂取をして、嚥下トレーニングをね、それは言語聴覚士の人がやるところが多いけどね。

あと、経管栄養とか点滴とかで高カロリーで栄養状態をよくしてから併用してよくすると。そうしないと悪循環入っちゃうでしょ」

■「あらゆる機能が衰退して、そういうふうになっちゃうと」

先生「今まで肥満はだめだ肥満はだめだっていったでしょ。最近、適度な肥満は長生きするっていわれてるんですよ、栄養状態がいいから。中年くらいまでは肥満ってのはあまり良くない、心筋梗塞になるからね。だけど、後期高齢者になればある程度肥満にしていかなないと、栄養状態をよくしていかなないと長生きできないっていわれてる。抵抗力がなく、結局肺炎を起こしやすい。だから必ずしも肥満が悪いとは言えないんですよ。最近、そういうふうにいわれてるね。

だから、青森県も肥満が多いっていわれてるけど、中年くらいまではまあそうだけでも、ある程度高齢者になってきたら栄養状態よくしてちょっと小太りくらいの方がいい、脳卒中の人でも長生きすると。やっぱり当然肺炎とか起こさないね。逆に栄養摂取が良いんですよ。まあどっちが最初かわからないけどね、栄養状態がいいが先か、そういう肺炎にかからないから栄養状態がいいのかさ。だんだん、悪循環に入っちゃうからさ。嚥下障害とか肺炎とかで入院、食べられないとかね。だんだん悪循環入って、最後は肺炎起こして悪くして亡くなっちゃうということになっちゃうからね。まあ、私はそういうようなことをミニミニ研究してるということです」

スピーディーな早期投稿、オンライン査読

■「では、次の質問に行きます。オープンアクセスについてですが、投稿されるときにオープンアクセスジャーナルかどうかというのは意識されますか？」

山下「あまり意識しないですね。我々の理学療法の国内の雑誌ってあまりないんですよ。2つくらいでしょ。あと地方誌になりますからね。各県誌会のジャーナルですけどね。そのあたり、看護と違って極端に少ないよね。だから、できるだけ年内に片付くような、私はね。結構ハードルの高いジャーナルは、年度内に収まらない研究して研究計画で倫理審査とおって、データとりして、まとめるうちに次の年になっちゃうでしょ。そうするとなかなか、まとめたときに出して、論文出す前に学会発表するけども、そのあとに雑誌投稿するまでに6ヵ月と

かかっちゃうとき、ちょっとあれだからなるべく早期投稿ってやつがあるのね。早期投稿高いんですよ、結構(笑)」

■「そうなんですか」

先生「みんな最近査読もメールだからね。オンラインだからみんな、スピーディーに査読して帰ってくるのがいいですよ。長くなる雑誌っていうのはかなり大変なんですよ。いつ受理されるかさ。我々歳になると短いから老い先(笑)」



■「いやいやいやいや…。これは伺ってみないとイメージできませんでした」

先生「最近そういう風になってきてるよね。いろんな雑誌類がね。それが良いか悪いかってというのは、利点の方が多いでしょうね。やっぱりそういう風になってる時代だからね。だんだんこう、紙でどうこうするより、電子化して載せた方が早いもんね。調べるにしても、そういうのがあるから調べやすいよね、ツールとしても」

■「そうですね。とっても楽です」

先生「似たような研究がひっかかってくるからね。良いか悪いかはいろいろあるけど、ひっかかってくとそれなりにいろんな角度からやってるから、自分の研究もヒントとして役立つよね。特に臨床的な研究をやってるから、病院の中の現場で必要な重要なところを研究してるので、臨床の人がいろいろ言ってるもの出てるのが載ってるからね、やっぱりそういうものに引っかかって、じゃあこういう同じような結果になってれば、同じようなテーマでやってればやっぱりみんなこれ重要だなとかみんな悩んでるんだとかこういうことやってるんだとか、お互いに相乗効果で、一本で出た結果も積み重なればそれなりに効果があるとか効果ないとか言えるでしょ」

■「説得力の問題なんですか？」

先生「結局ハードルの高い1本の雑誌で

投稿されたとしてもさ、それが間違ってる可能性もあるからね。だけど、ミニミニ研究がいっぱい集まってもまとまって結果が出ればそれの方が強いって思うよね。だから、こういうオープンなやり方はいいよね。広く公開できるというのはね。臨床研究はいいねそういうところね。コメディカルだね」

学生に「変な引用や盗用はなし」「コピーはなるべくしないように」と教員と図書館が協力して指導

■「これからのオープンアクセスや図書館についての期待についてお聞かせください」

先生「素早い公開と、学生にも利用しやすいように」

■「『素早い公開』は、先生が投稿されてからすぐに公開されるみたいなかんじのイメージでよろしいですか？」

先生「はい」

■「そうすると、『学生にも利用しやすい』っていうのはどんなかんじのことでしょう？」

先生「学生は今レポート書くにしてもね、結局オープンアクセスっていう言葉もわからないし、ジャーナルから持ってこない学生が一番困るんですよ。コピーでジャーナルじゃないところから貼り付けられるのはよくないと思うんだけどね、少なくとも、良い雑誌から貼り付けてほしいと思うんだよね。ジャーナルじゃないところに文章的に書いた出所がわからない一言が書いてあったりとかぼっと持ってこられると、非常にレポートも参考引用文献としてはね。結局、ホームページのアドレスで引用しちゃまずいと思うんだよね。それよりは、いつのジャーナルかというのがちゃんと書かれてどういところをどう引用したかわからないとき、そこらあたりがわからないんだよね、学生っていうのはね。なんでもホームページから、文献じゃなくてアドレスで反映されて。悪くはないんだけどね。公的なホームページならいいけどね、私的なホームページのアドレスを引用して本当にいいのかって。正しくない場合もあるからね。できるだけそういうオープンな雑誌のね、コピーするにしてもホームページのアドレスで

なく、PDFを開いて出てきたものとかね、そういうのをちゃんと雑誌名・著者名・年号ちゃんと写してやりなさいよって、ホームページのアドレスじゃなくて言ってるんだけどそのあたりがわかってないからね。そういうところちょっと図書館でも指導してもらえればね」

■「そうですね。一年生の間総合ゼミで私たちが同じようなお話をしてるんですけど、やっぱりすぐ忘れちゃうんですね」

先生「だんだん、年次が上がってくれば理解してくると思うんだけどね」

■「そうですね。先生たちに何回も直してもらってようやく直るんだろうと思うんです」

先生「コピペの盗用とか、引用の仕方を守るようにルールがあるみたい。研究倫理もそういうところ入ってたね、最近ね。何行とかどのように引用とか、そういうのも講義の中で教えてるんだけど、そのあたりもうちょっと学生に安易なコ

ピペはするなってことと、引用の仕方もちちゃんとルール考えて引用しなさいよということを学生に我々も言いますが図書館の方でもちゃんとしてもらえればね、ルールで。電子ジャーナルでもかなりそこに集中すればアウトな場合あるんでしょ？」

■「契約によってなんですけど、日本の雑誌が載ってるメディカルオンラインですと特に同時アクセス数の限定はないんですが、連続して同じ雑誌の続いているページをどんどん開けていっちゃうとアウトになることがあります。それは、とにかくダウンロードだけ先にしちやおうってやろうとするとそうなるんですが、開けて確認してから次に行くってやっていけば問題はないです」

先生「そこらあたりも学生にとって何が必要な雑誌かっていうかね、要旨をみて本当に必要なのか。ダウンロードしてしまえば、あと安心だというようなところがね。結局、引用文献を数だけ集めれば

いいと。それからまた、どこの部分を自分のレポートに重要かってピックアップするところできてないんだよね、まだ。そこらあたりをちょっと学生にもね、図書館の人がまず最初の入口だからそのあと我々が何回も言いますので。変な引用とか盗用はなしだけでも、コピペはなるべくしないように指導したいなと思いますけどね」

■「わかりました」

これまでどおり『じょっぱり研究』

■「では、最後に先生のこれからの夢について、お聞かせいただければと思います」

先生「なんにも夢、それほどないけどね。今までどおりだね。これまでどおりに『じょっぱり研究』でいきたいね」

■「先生、ありがとうございました」

スペシャルインタビューのポスター展示



オープンアクセスウィーク 2015 に合わせて、平成 27 年 10 月 19 日(月)から 10 月 23 日(金)まで、管理棟 1 階エントランスロビーでスペシャルインタビューのダイジェスト版ポスター展示を行いました。



社会福祉学科 教授

大山博史

青森県立保健大学リポジトリ
5周年インタビュー



医学博士（弘前大学）
2005年～ 青森県立保健大学

社会福祉学科

専門分野について

図書館（以下「■」）「ご専門の分野について教えてください」

大山博史先生（以下「先生」）「私は精神学が専門でして、現在主な研究テーマは「自殺予防」です。その他、「精神科リハビリテーション」も研究を手掛けています。」

研究の評価項目は「人」

■「先生がその専門を選ばれた理由というのはいくつありますか？」

先生「以前、青森県立精神保健福祉センターというところに勤めていた時に、当時から青森県の自殺が多かったものから、そこで、自殺予防の業務を任せられたことがきっかけですね。」

それから、精神科リハビリテーションの方は、精神科医として勤務している中でやはりこれも業務としてやってきたということです。

個人的にこれらの仕事を始めからやりたいといったことはありませんでしたが、まあ、業務として任せられた中で

研究を深めていったということでしょうか」

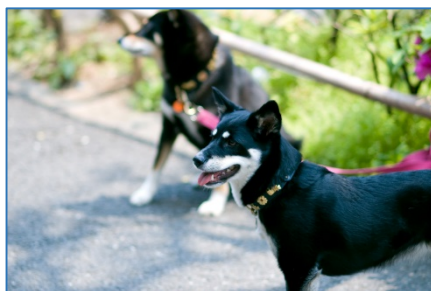
■「はい。では、現在のご研究について少し教えていただけますか？」

先生「自殺予防の研究では、うつ病の健康診断の仕組み使って地域の自殺死亡率を低下させるプログラムを開発しています。成果も得られています。」

それから、精神科リハビリテーションの方ですと、動物療法を重症の統合失調症の方に実施して、その効果の検証を行っております。こちらも、成果がでています」

■「動物療法は、どんな動物を使われていますか？」

先生「現在私がやってるのは犬なんです



けど、脳性麻痺の方に乗馬を行うというの是非常に有名な動物療法ですね。そ

の他、精神障害の方ですとやっぱり犬が多いと思いますね」

■「よくセラピードッグって耳にするんですけど、あの子たちなんですか？」

先生「そうです。特別な訓練を受けた犬ですので、**犬もセラピーに関わると非常に疲れるというのがはっきりわかりますね**」

■「犬の様子も違うんですか？」

先生「ええ、違いますね。統合失調症の方は、心と心の交流を保つというのがすごく難しくなるんですけども、例えば視線が合わなくなるとかね、そういう症状が出てくるんですが、視線を合わせられない患者さんであっても、動物が寄ってくると視線を合わせることができるようになるんですね。それを定期的に繰り返していくと、その方はある程度視線を合わせられるようになるとかね。カッとやりやすさが改善するとか、という効果があるんですね」

■「それでは、研究の面白さと難しさについて教えてください」

先生「私の研究の評価項目は、人なんです。例えば、自殺の危険にさらされてる人の数ですとか、重度の統合失調症に

悩んでいる方の心の状態ですとかね。です。研究成果がでた場合には、その自殺の数が減るとかね、それから重度の統合失調症の方の心理状態が改善するとかという形で、非常に目に見える形で成果が得られるというのは、私ね、非常に関心がありますね。面白さというよりは、こういった大学の研究職に就く者の義務だと思っていますね。

あと、あまり面白って感じたことはないですけど。ただ、そういうことは社会上の善に向かっての行為じゃないかなって思いますね」

■「そうですね。先生のご研究ですと難しさがいっぱいありそうですけど…」
先生「難しさですね、やっぱり人を対象とした研究ですので、例えば、RCT*って実は難しいんですね。そういったRCTを行えない中で、皆さんに説得力を持った成果を出すというのは非常に難しいですね」

※RCT (アール・シー・ティー) …ランダム化比較試験 (Randomised Controlled Trial)。臨床試験の対象となる患者さんをランダムに振り分けて介入群と対照群を作り、治療の効果を比較することにより、評価のバイアスを避ける方法。

■「そうですね」

先生「そういった研究成果は、将来的にはね、制度政策に生かしてもらいたいと思ってやってるんですけど、研究デザインの制約がやっぱりありますので、そこをどういうふうに埋めていくのかわかっていうのはすごく工夫を要しますね。複雑な統計の計算なんかもやらなくちゃいけないので。あと一方で、倫理的な問題をクリアしなきゃいけないとかあって、制約多い中で工夫を凝らさなきゃいけないというのは非常に難しいです」

研究ツール

■「よく使われるツールはありますか？」

先生「SPSS (エス・ピー・エス・エス) は本学で導入されていますから使いますね。あとはR (アール) という統計のソフトとかかな。あとは… (ソフトの外箱を取り出しながら) これですね、StatXact (スタットザクト) っていうんですよね。こういうの使ってるんですよ」

■「ありがとうございます」

予測しない情報に出会う確率が高い冊子体、意図した検索しかヒットしないインターネット

■「では、次にオープンアクセスについてなんですけども。」

今回のインタビューは去年のオープンアクセスウィークの時にお配りした封筒に入れて論文を図書館に提出してくださった先生を対象にさせていただきます。論文のご提供ありがとうございました。今はまだ著作権処理中で、リポジトリには掲載されていないのですが…。

先生は、投稿されるときにオープンアクセスジャーナルかどうかということ意識されるものなんでしょうか？」

先生「冊子体をもっていない雑誌でオープンアクセスだけでネット上にだけ存在するジャーナルは今後すごく増えてくるので、そういう雑誌はやっぱり投稿を避けたいなという気持ちはありますね。冊子体があってオープンアクセスってというのは、理想的だと思いますね」

■「ええ。学会誌は冊子をやめてネット上で無料公開するように動いているところも結構あるんですけども、先生の専門分野ではそういう動きはないんでしょうか？」

先生「冊子をやめるということはしませんね、私の領域では。冊子を出しながら、オープンアクセスも併用するという動きに留まっていますね」

■「それはその冊子を出し続けることの意義というか、その辺を大切にされたいりするんでしょうか？」

先生「冊子をなくしたときのリスクが予想できない。それから、オープンアクセスジャーナルの数が膨大に増えるリスクというのがありますので、オープンアクセスジャーナルのみに限定するとそのリスクが回避できないのかなという感じしますね」

■「はい」

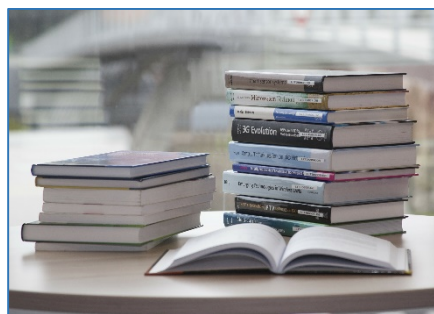
先生「これだけ世界に図書館というのが存在するんだから、図書館もバーチャル

の図書館ではなくて、実際に本を見られるというリアルな世界を実現している場所だと思いますのでね、冊子体あったほうがいいと思いますね」

■「実は最近外国雑誌がどんどん高くなっていて、外国雑誌の購読形態が以前は冊子体プラスおまけの電子ジャーナルみたいな形が多かったんですが、それがどんどん移行してきて、電子ジャーナルが基本の契約形態で、もし冊子体が欲しければ追加料金を払ってくださいって言われると、予算の都合で冊子体はやめているものもあるんですけども、本当は冊子体もあった方がいいんですね」

先生「そうですね。やっぱり3Dにしてもバーチャルにしてもですね、やはり手に取って見るのよりは、はるかに情報量が少ないんですよ」

■「へえ！」



先生「例えばですよ、速読ってありますよね。本をめくってね。あれは、実際の本ではできるけども、バーチャルの世界ではそれができません。ただ検索だけですよね、やるのはね。ですので、冊子体があると自分の意図していなかった情報に出会う率が高いんですけども、ネット上の検索だと自分の意図した検索のところにしか引っかかってこないとかね、あるので、やっぱり冊子とIT情報とかねちょっと違うんじゃないかなと思いますね」

■「はい。そうしましたら、話がちょっと重複するところもあるんですが、研究者の立場からオープンアクセスの良い点と悪い点についてどのようにお考えか教えていただけますか？」

先生「オープンアクセスはやっぱり自分が調べたいと思う内容が出てきますけどね。自分が予測しない内容に出会う確率は低いと思いますね。冊子はその逆で

すかね。検索するのは大変ですけど、自分が意図してなかった情報に出会うという、そこからね、新しいものが生まれるチャンスは冊子体の方が大きいような気がしますけどね」

■「では、これからのオープンアクセスや図書館についての期待について教えてください」

先生「そうですね、今後はネット上で個人がどの程度研究に貢献したかというのが評価される時代ですよ。例えば、インパクト・ファクター※っていうのがありますけどね、あれは個人を測ってるわけじゃないわけです。Google Scholar※なんかですと自分の書いた論文が何回引用されたかなってわかりますんで、そういったところから研究成果の評価っていうのが、もっと厳密にちゃんと行えるんじゃないかな。そういうところは若い研究者の励みになると思いますよね」

※インパクト・ファクター…ある雑誌に掲載された論文が特定の1年間に引用された回数の合計を、直前の2年間に同じ雑誌に掲載された論文の合計で割って算出される数値で、有料データベースのJCRで調べられます。特定の雑誌に掲載された論文の平均的な被引用数を示すもので、個々の論文に対する評価ではありません。

※Google Scholar (グーグル・スカラー) …学術情報を無料で検索できるサイトの一つ。Google Scholar Citationsでは自分の論文を引用している論文をチェックする等できます。

■「はい」

先生「図書館は、さっき言った冊子体を手にとれるというのを確実に提供してくれる場ですので、冊子体もできるだけ残して欲しいってのはあるんですけどね」

■「はい」

先生「コストの問題もありますよね」

■「そうですね」

先生「全てオープンジャーナルっていいですか、全てネット上の出版物で対応するってなった時には、デメリットについて考えていけないといけないのかなと思いますね。例えば、速読ができなくなるとか」

■「先生は速読なさるんですか？」

先生「私は速読ってわけじゃないんですけども、早く読む工夫はできますね。ただ、本を傷つけちゃうんですけどね」

■「そうなんですか！そんなに早いんですね」

先生「私がね、いつも図書館の方たちがすごいなって思うのは、良い本を買って置いてあるんですよ。私が注文するつもりがない本でも大事な本が置いてあるんですよ。だから偶然図書館に行って良い知見に出会う、良い知識に出会うっていうのはすごく多いんですこの図書館は」

■(笑)「頑張らなくっちゃ」

先生「やっぱり自分の知らないことに知らない情報に出会ってそれがすごく役に立つてことが多いですよ」

■「本学の先生の研究テーマはなるべくチェックして、そのテーマに近いキーワードで選書するように気を付けてはいるんですが、何かありましたら教えてください」

研究成果を県民に還元できる仕組みを

■「では、最後に先生のこれからの夢について、もし教えていただいてもよろしければ…」

先生「夢っていいですかね、自殺の研究では先日9月11日から13日まで第39回日本自殺予防学会総会を本学で開催



しましてね、その大会長務めさせていただくことができまして、やっぱり様々な研究者の成果を、まとめて公表する機会っていうのをね、今後作っていったらいいなって思いますね。

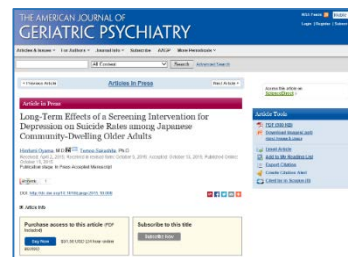
それがなるべく早く社会に還元できるような仕組みを行政とタイアップしてね、本学は県立大学っていうポジションでもあるので、そういった研究成果を県民に還元できる仕組みっていうのは、実際に実現可能だと思うんだよね。そういうのをやっていきたいというのが、短期的な近い将来の夢ですかね。

その先のことは、近隣の子供たちがすくすく育っていく環境を作れるようなね。制度政策が実現できるための研究成果を提供していただけたらいいかなあ。それが夢ですね。地方創生とかちょうと言われているんですけど、一方で青森県の健康問題っていうのもね高い水準ではないんで、そういったことを改善できるような研究成果と政策の連動をさせてくのに、その一助となるようなことをやりたいですかね。ですから、最後は人に対する研究に終始しちゃうと思いますね」

■「どうもありがとうございました」

◆大山博史先生の最新論文

Oyama H, Sakashita T : Long-Term Effects of a Screening Intervention for Depression on Suicide Rates among Japanese Community-Dwelling Older Adults, *American Journal of Geriatric Psychiatry*, 2015(in Press)



[http://www.ajgponline.org/article/S1064-7481\(15\)00272-9/abstract](http://www.ajgponline.org/article/S1064-7481(15)00272-9/abstract)

乗鞍 敏夫

栄養学科
講師

青森県立保健大学リポジトリ
5周年インタビュー



兵庫県宝塚市出身
大阪市立大学大学院生活科学研究科博士後期課程修了
2007年～ 青森県立保健大学

栄養
学科

専門分野について

図書館（以下「■」）「ご専門の分野について教えてください」

乗鞍敏夫先生（以下「先生」）「僕は基礎栄養学っていう、化学や生物学寄りの栄養学が専門です。」

専門を選んだ理由は、テーマより人への憧れ

■「先生がそのご専門の方向に進まれたきっかけとかありましたら教えてください」

先生「大学院に進んだのは、総合大学だったので男性は大学院に進んで修士ぐらいは当たり前な世界なんですね。なんで、何も考えずに修士（課程）に進むことを決めたとき、今まで本当に勉強してこなかったんで、ここからはいっちょ勉強しようかなと思ったのが、その（学部の4年生から修士課程2年までの）3年間なんですね。なんで、自分が研究に向いているか向いていないかもその時はもうわからない状態で修士に進むっていう進路は決めないといけない状態な

んです。なんで、思い込みで無理やり研究に向いてるって思って頑張るしかない状況なんですよ。で、その勘違いが結構僕は思い込みが強い方で、そのまま研究をやってきたっていうふうなかんじですね。

僕は、勘違いっていっぱいあるって思うんですね。でもそれをエネルギーにできる若さを持ってるとっていうのはすごい素敵で、そういう勘違いはあとで気付けばいいんで、どんどん勘違いしたらいいんじゃないかなっていうふうには思っています。

あと、専門を選んだ理由っていうのは、自分がこれがしたいとかっていうのはあんまり強く持ってないタイプで、その時その時に会った人に、例えば本学だったら松江先生だとか岩井先生にはお世話になったりとか、カッコいいとかすごいとか、そういうふうな単なる憧れとか、テーマっていうよりは人への憧れでその人のまねをしていきたいなとかっていうのが強いです。ようやく最近になって、自分の色（研究テーマや専門）がぼんやりと見えてきたかな・・・って感じです。」

■「おもしろいですね。そうなんですね」
先生「自分の恩師が授業の時とかも、やっぱりなんかすごそうな雰囲気はあるじゃないですか。オーラみたいな。だからそういう僕も身につけていかないと、学生にとってはそういうふうなのは大切なのかなっていうのは思っています」

成分表にまだ載っていないアミノ酸や食品を分析

■「それでは、現在のご研究について教えてください」

先生「今は3つほど。3つやってるって言うても全然平行してやれてないんですけど。一応は。

1つめは、食事から摂取するアミノ酸とタンパク質の算出法の妥当性の評価っていうのをやっています。これは文部科研（文部科学省の科研費助成事業）いただいたんで、これを3年間でやっていこうって思っています。

2つめは、青森県の地域伝統食品の栄養性分析とデータベースの構築っていうのを、学内の研究費をいただいてやっています。

3つめは、青森県の農林水産物から、生理活性物質って体にいいような成分とかどういふものがあるのかなとかそういうのを調べるっていう研究をやっています。」

■「もう少し詳しく伺ってもよろしければ、お願いします」

先生「『食品成分表』は、日本でよく食事で摂取する約1900種類の食材について、どういふ栄養成分が入っているかっていうのが、一覧のデータベースになった本なんです。その「アミノ酸成分表」が載っている、僕がよく図書館で借りる緑の本*があって、約1900種類の中でまだ載ってるのが約350種類なんです。あとの**約1500種類の食材にはアミノ酸含量のデータがない**んですね」



『食品成分表 2014 資料編』
香川芳子監修
女子栄養大学出版部
498.51|Sh96|2014

ちなみに、最新版(2015年版)はオレンジ色になりました。

■「ないんですか!？」

先生「はい。で、この本に載っていない食材の場合、アミノ酸組成が似てるんじゃないかと予想される食品置き換えて、アミノ酸の摂取量とかを栄養価計算をするしかないんです。つまり、アミノ酸摂取量の評価はまだまだ発展途上って感じなんです。じゃあ僕は、食事をぐちゃぐちゃに混ぜて、そこるところからアミノ酸を一気に分析しちゃって、成分表がないから季節の誤差とかいろいろ誤差があるので、そういうふうなのをこう、うん。ちょっと難しいですかね？」

例えば、お好み焼だったら小麦粉何グラム使って鰹節何グラム…と、それぞれの各食品のデータを全部足し算して行って栄養価計算をするんですけど。そういう調理済みの食事のアミノ酸を一気に分析しちゃう！みたいなことをやろうか

なって思っています。

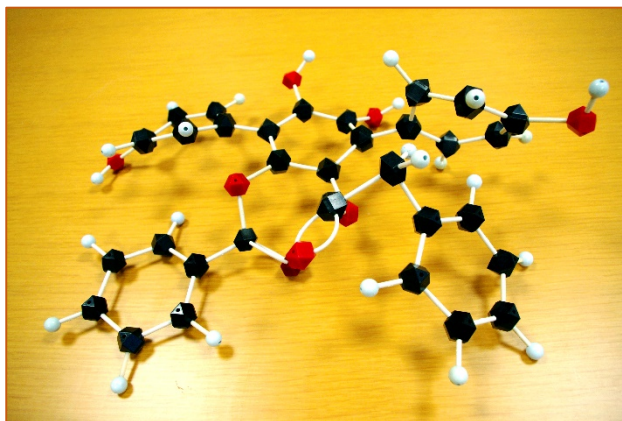
あと二つ目のところは、1900種類くらいっていうのは、日本全国でみて優先順位の高いものを選んでるんで、例えば、みずだとか姫竹(細いたけのこ)とか、あと南部せんべいだとかせんべい汁のせんべいだとか、こういうのは成分表に載ってないんで、それを成分分析して、みなさんにお伝えしていけたらなあっていうのを研究しています。

三つ目は、青森県に自生していたキノコだとか食用キノコとか、あとそれ以外にもその県に特化したような食品を、体に良さそうな成分を見つけてきて化学構造とか見つけてとかそういうふうな仕事をしています」

小さくても新たな発見にはガッツポーズ

■「先生のご研究のおもしろいところと難しいところというのがありましたらお願いします」

先生「はい。おもしろいところっていうのは、すごく小さい発見なんですけども、これが世界で一番新しいっていうのがあるんですね、発見したら。それが重要かどうかっていうのはさておきなんですけど。すごく小さいとこなんですけど、それはすごくやっぱりうれしくて、ガッツポーズもでるし自分が初めて見つけた物質は、松江先生に模型作ってもらって「おめでとう」って握手してもらったんですけど、死んだときに棺桶入れようかなとも思うくらい。



乗鞍先生が発見された物質「テレファンテン O(オー)」の分子模型

最近生きてあんまりガッツポーズってないんですけど、そういうふうなのができる、大人になっても。そういうふうな存在なのかなと思ってます」

■「ちなみに、その見つけた物質には、先生がお名前を付けたんですか？」

先生「そうそう!松江先生と一緒に名前付けて、はい。まあ、通し番号なんですけど。似たような物質はもう見つけて、ちょっとだけ構造の一部だけが違うだけなんですけど」

■「そういう見つけた物質ってどこかに登録したりするんですか？」

先生「あ、そうですね。僕が登録してるわけじゃないんですけど、日本化学物質辞典*っていうデータベースに載ったりとかしてて」

※日本化学物質辞典…通称「日化辞」。国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が作成・無料公開している有機化合物の辞書データベース。名称、分子式、分子量、化学構造図等から検索できます。データは文献データベース J-STAGE にリンクしていて、関連文献を簡単に探すことができます。

■「なんか星みたいだなって思って」

先生「そうなんです、ほんと。どっちが役に立つのかどっちも役に立たないっていう、よくわからないんですけど(笑)」

■「星の世界だと、発見者の方の名前がついたりもしますが、その物質の世界では番号みたいなものなんですか？」

先生「CAS ナンバー*っていう番号があって、物質固有の番号がつくんですね。なんですけど、そこからひもつけていたら名前につぶかると思うんですけど、

そんな物好きもいないっていうか。でも、自分の子孫がそういう、甥っ子姪っ子なんかがこの道に進んだときに、興味本位でお兄ちゃん何やってたんだらうって見つけたときには、ひよっとしたら辿り着くかなと思います。

あと、難しさは、何から何まで難しいっていうか、こう、答えに困るなっていうか。まあ、良い研究したと自分で思っても認められなかったりとか、でも、ま、折れない心っていうか。人それぞれなんで、あまりこう…難しいです、はい、答えがでない」

※CAS (キャス) ナンバー…個々の化学物質に付与される固有の識別番号です。アメリカ化学会 (American Chemical Society) の情報部門である Chemical Abstracts Service (CAS) が作成するデータベースに用いられ、CAS RN、CAS 登録番号とも呼ばれます。

研究に欠かせないツール

■「では、少し話は変わるんですが、先生がそのご研究の際によく使われるツールはありますか。実際に文献探す方のツールでも実験系のツールでもなんでも結構です」

先生「EndNote※と、僕は化学物質とかなんで Chem Draw (ケミカルドロー) っていつて構造式を書くソフトがあるんですね。あとは、図書館にも置いてある統計ってみんな SPSS※ってイメージがあるじゃないですか。僕のジャンルはそんなに SPSS じゃないとないできないとかってことないんですね。図書館の『4steps エクセル統計』※っていう本について付属の CD とかでまかなえる感じなんですわ。」

※EndNote (エンド・ノート) …文献管理ソフトの名称。他に、RefWorks (レフ・ワークス) や Mendeley (メンデレー) がある。

※SPSS (エス・ピー・エス・エス) …統計ソフトの名称。



『4Steps エクセル統計』

第3版

柳井久恵著

オーエムエ出版

417|¥54

■「先生の方の統計ですと、どういう種類の統計なんですか？」

先生「一番多いのが一元配置分散分析の多重比較検定※ってやつなんですけど。それとあとは、二群間の差の検定※とかすごい簡単なやつになります」

※一元配置分散分析の多重比較検定…AグループとBグループとCグループで1つずつ条件を変えてデータを取り、それぞれのグループの平均値にどのような関

係があるか、有意差はあるかということ調べる統計手法。

※二群間の差の検定…AグループとBグループの差を比較し、統計学的に有意な差と言えるか調べる統計手法。

■「そうなんですか」

先生「あとは、JCR※はよく見えます」

※JCR (ジェイ・シー・アール) …Journal Citation Reports の略称で、「インパクト・ファクター」という数値を調べることができます。

オープンアクセス誌の投稿料は高い

先生「オープンアクセスの雑誌にサブミットする時は結構お金が高いじゃないですか」

■「そうなんです、やっぱり」

先生「そのところってこっちからしたらあまりメリットがないっていうか」

■「はい」

先生「PLOS ONE※だとか結構勢いありますよね。ちょっと難しいかなと思います。

あと、論文の引用文献って結局その論文より古い情報じゃないですか。で、僕大阪 (大阪市立大学) にいた時は、Web of Science※を使って、未来へっていうかその後引用したやつをひいて勉強してたんですけど、それが今はこっちはないんで、それと同じような感じで Google Scholar※ができてののかなあと思ってたままに使ってます」

※PLOS ONE (プロス・ワン) …無料で公開されるオープンアクセス誌の一つ。学術誌では著者が投稿料を負担するが、購読料収入がないオープンアクセス誌では、投稿料が高くなる傾向があります。

※Web of Science (ウェブ・オブ・サイエンス) …有料の文献データベース。他に Scopus (スコパス) が有名だが、残念ながら本学ではどちらも契約していません。

※Google Scholar (グーグル・スカラー) …無料の学術文献検索サイトの一つ。論文Aが発表され、それを引用した論文Bがあるとき、Google Scholar で論文Aを検索すると検索結果に「引用元」と表示され、クリックすると論文Bのデータを見ることができます。

■「Web of Science は便利だろうなと思うのですが、予算の関係で契約できてな

くて。そうなんですよね、引用文献だけで過去になっちゃうからその問題がどうしても…。

では、先ほどもお話が出ましたが、そうすると先生は投稿する時にオープンアクセスジャーナルか否かっていうことというよりは、投稿料のほうの問題を考えていらっしゃる感じですか？」

先生「一番最初はやっぱりインパクト・ファクター※とかそんな感じですね。そ



のオープンアクセスっていうのがここ数年の動きなんで、そんなに意識したことがないんですね」

※インパクト・ファクター…ある雑誌に掲載された論文が特定の1年間に引用された回数の合計を、直前の2年間に同じ雑誌に掲載された論文の合計で割って算出される数値で、有料データベースのJCRで調べられます。

例) Aomori という雑誌に掲載された論文が2012年は10件、2013年は15件として、その25件の論文が2014年間に引用された合計が5回とすると、Aomori 誌の2014年のインパクト・ファクターは0.2となります。

■「そうですね。栄養学系はまだあまり聞かないですが、今年は看護学系の国内の学会が学会誌を無料公開する動きがだいぶ進んできています。オープンアクセスジャーナルとはまた違う方向で、みんなJ-Stage※で見られるようになりつつあるので。なので、先生から見るとまた違う問題なんですけども。

今回、先生に論文をご提供いただいて、リポジトリに登録準備中なんですけど

も、先生からご覧になってオープンアクセスの良い点と悪い点みたいなのところはありますか？」

※J-Stage (ジェイ・ステージ) …国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が構築した科学技術情報発信・流通総合システムの名称。学会誌を中心に、一部は無料公開されています。

先生「本来はですよ、やっぱり自分のやった研究をいっぱいの人に知ってもらえるっていうのはたぶん嬉しいことだとは思んですけど、僕あんまりその感覚ないんですね、正直なところ。

論文ぱっと出たらそれなりにメールとか来たりするんですよ。その時に。でも、そのメールとかが来たのが、本来嬉しいとなのかもしれないですけどそんなに嬉しくないんですね。別に関係ないんですよ、自分だけで完結するんで僕。だからちょっとネガティブになっちゃうんですけど、本来は自分の研究を広く公開してってことですよ。活用してもらって嬉しいな～なんですけど、僕はそんなにあんまり思わないです」

■「おもしろいですね～これは先生にお話を伺ってみたいとわからないことなので、とてもおもしろいです」

先生「人から認められてすごいって言われて喜ぶタイプと、自分の中だけで喜んで自分で完結しちゃってるタイプと。僕、後者だと思うんで。そうじゃないと続けられないんですね。自分は良かったと思っても、いろんなこと言う人いるし、そういうのを期待すると気持ちにムラがでるんで、自分の中でそこは完結してやらないとちょっと長く続かないんじゃないかなと思ったりはします。

あと、オープンアクセスの悪い点は、

思いつかないんですけど、今までって雑誌って学会に所属してたら送られてくるとかそういうもんじゃないですか。でも、オープンアクセスになったら論文は無料で手に入るんで、学会に入らなくなったり、出版者の方の収入源ってどうなってるのかなとかそういう心配はあるんですけど、僕なんかからしたら全然オープンアクセスになるデメリットはないですね」

■「例えば、オープンアクセスになると研究者以外の方からも読まれて、あまり研究目的じゃない質問をされるかもしれないとかって面倒さみたいなのかって…」

先生「あー、あるかもしれないですね。変なメールがいっぱいくるとか、そういうのはありますね。海外とかからいろんなメールは来ています」

今後の夢

■「では、今後の夢についてを…」

先生「一応、秘密です」

■「お忙しい中ありがとうございます」

◆乗鞍敏夫先生の最新論文

Norikura T, Fujiwara K, Yanai T, et al. : p-terphenyl derivatives from the mushroom *Thelephora aurantiotincta* suppress the proliferation of human hepatocellular carcinoma cells via iron chelation. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 61(6), 1258-1264, 2013



<http://pubs.acs.org/doi/abs/10.1021/jf3041098>

新企画

自著紹介

第1回

本学教員による著書を

執筆者ご本人に紹介していただく新企画です。

著書に触れることで、

授業をより深く理解するためのヒントが得られるかもしれません。

健康と生活シリーズ(7)

『みんなで元気に!! 地域に根ざした健康教育ガイドブック』



栄養学科准教授 浅田 豊

竹森幸一/山本春江/浅田豊/
千葉敦子/工藤奈織美
青森県立保健大学健康科学教育センター
2005年
図書館1階 大学関連発行物のコーナーに配架しています
青森県立保健大学リポジトリ A-plus(アプラス)でも公開しています

今日、どの世代の人たちにとっても、健康を保持・増進するための心情や判断力、日々の実践的行動は不可欠であり、そのために必要な情報の獲得・理解・活用等に関わるヘルスリテラシーは重要性を増しているところです。

本書は減塩による高血圧の一次予防を主目的とした健康教育を青森県内の各市町村において実施し、理論的・実践的観点等から検討を加えた結果を分かりやすくまとめたものです。

住民の方々が主体的に問題解決を進める方法論、健康教育の効果や課題、減塩教室の実際の風景などが同書の構成に含められています。

この方法論そのものは、対象が学生、子ども、高齢者と替わった場合でも応用可能です。学習指導案づくりやFDとしても参考にさせていただけると思われます。皆さんのアクティブ・ラーニングやノイエス(新発見)にとって、一つでもヒントになれば幸いです。





『社会は障害のある人たちに何を期待しているか：生涯学習実践から知的能力をめぐる問題を考える』

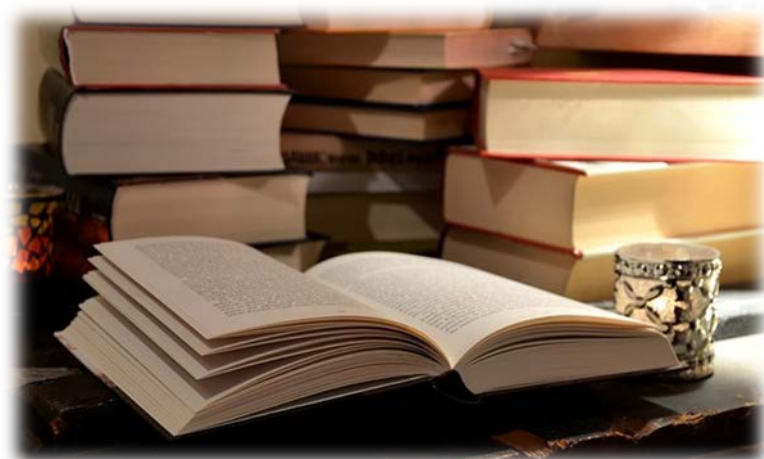
社会福祉学科講師 西村 愛



西村愛
あいり出版
2014年
369.28||N84

みなさんは、知的障害のある人と関わったことがありますか。テレビでも、芸術や音楽の分野における彼らの活躍や、自分の意見を述べる姿を取り上げるようになりました。それは、知的障害のある人に対する社会の偏見を減らす役割を果たしてきました。と同時に今度は、社会は、彼らを過大評価するようになり、様々なことを求めるようになりました。いったい、社会は障害のある人たちに何を期待しているのでしょうか。

本書は、知的障害のある人たちを対象とした生涯学習を題材に、知的能力にハンディをもつとは、どのような困難があるのかを書いたものです。2003年から本学で実践しているオープンカレッジは、学内の先生方の協力を得て様々な学びを提供しています。社会性や生活力が伸びた人もいますが、学びを活かせるかどうかは、周囲の人の知的障害のある人に対する考え方が大きく関係しています。知的障害のある彼らが、自分らしく生活する支援を考えるために、ぜひ読んでいただきたいと思います。



新企画：自著紹介

原著論文の探し方ー日本語の文献ー

「原著論文を探しているんですけど、どうやって探したらいいですか？」

そんな質問を学生のみなさんから受けることがあります。
原著論文とはどういうものか、知っていますか？
理解したうえで探していますか？

そこで今回は、知らない人には「なるほど!」、知っている人には「そのとおり!」とってもらえそうな原著論文の基本知識と、文献情報サイトにおける原著論文の探し方を紹介します。

ポイントは3つ

1. 原著論文の定義は、大学や研究機関、文献情報サイトによって異なる
2. 原著論文に関して、独自の定義を持つ文献情報サイトと持たないサイトがある
3. 原著論文に絞り込んで検索できる文献情報サイトとできないサイトがある

■原著論文の定義は一つではない

原著論文とは文献の資料種別の一つです。その定義は大学や研究機関によって、また文献情報サイトによって違います。

そして、原著論文を独自に定義している文献情報サイトもあれば、定義していないサイトもあります。例えば、医中誌では独自に原著論文を定義し、一つ一つの文献をチェックして、原著論文に該当するか否かを判断しています。しかしながら、メディカルオンラインや最新看護索引 Web、CiNii、JAIRO では独自の定義はありません。あくまで、論文が掲載されている雑誌に「原著」や「原著論文」等の記載があった場合に、原著論文としてヒットします。

文献検索サイトを利用する際、そのサイトがいうところの“原著論文”の意味を理解していなければ、せっかく検索しても空振りしてしまうかもしれません。原著論文という単語に

惑わされず、今自分が探しているものは何か、検索の目的と必要としている文献のタイプを明確にしたうえで、文献収集することをお勧めします。

【原著論文の定義の例】

		定義
データベース	医中誌 Web	医学・歯学・薬学・看護学・獣医学およびその関連分野に関わる研究、開発、調査で、独創性、新規性のある文献で、著者名と所属機関名が必ず記載されており、目的、対象、方法、結果、考察、結論で構成されているもの。図、表、写真、参考文献を含み、要旨、要約があるもの。講演または会議録でも、原著的内容、形式を有するもの。論文の簡略化された形式をとった記事（速報・短報）も含む。症例報告は原著論文とする。
	最新看護索引 Web	雑誌に記載されている場合のみ付与
学会誌	日本看護科学学会誌	看護学の知識の発展に貢献する独創的な論文であり、オリジナルなデータもしくは分析に基づいて得られた知見と実践への示唆が論理的に述べられているもの
	日本呼吸器学会誌	基礎及び臨床研究に基づくものである
	日本人間工学会誌『人間工学』	著者の研究成果をまとめた著述であって、新規性・有用性・客観性のあるものとする
紀要	青森県立保健大学雑誌	研究論文のうち、研究が独創的であり、新しい知見や理解が論理的に示されているもの

※ここでは、原著論文の形式は医中誌以外記載していませんが、学会誌や大学雑誌ではそれぞれ執筆要領によって形式が定められています。投稿する場合は、必ず投稿先の規定を確認してください。

【参照ページ】

医中誌 Web ホームページ

<http://www.jamas.or.jp/user/database/policy.html#02>（参照：2015-10-27）

最新看護索引 web ホームページ

<http://www.nurse.or.jp/nursing/education/library/pdf/2015-web2.pdf#page=22>（参照：2015-10-27）

日本看護科学学会ホームページ

http://jans.umin.ac.jp/cntrbt/cntrbt_j.html（参照：2015-10-27）

日本呼吸器学会ホームページ

<http://journal.kyorin.co.jp/journal/ajrs/authors.php>（参照：2015-10-27）

日本人間工学会ホームページ

https://www.ergonomics.jp/official/wp-content/uploads/2010/04/journal_kitei2015-06.pdf（参照：2015-10-27）

青森県立保健大学研究推進・知的財産センター研究開発科雑誌編集専門部会：雑誌投稿規定。青森県立保健大学雑誌，15巻，63-〔65〕，2014



■原著論文に絞り込んで検索できるとは限らない

原著論文に絞り込んで検索ができる文献情報サイトとできないサイトがあります。医中誌やメディカルオンライン、最新看護索引 Web では、原著論文に絞り込んで検索することができますが、CiNii や JAIRO ではできません。

また、メディカルオンラインの場合は、はじめから原著論文に絞り込むことはできず、一度検索した結果をさらに絞り込む時に活用できます。

CiNii や JAIRO といった原著論文に絞って検索ができないサイトの場合、キーワードとして「原著」や「原著論文」を入れて検索すると、原著論文がヒットすることもあります。しかし、抄録等に含まれる「原著」や「原著論文」という単語に反応し、原著論文ではない文献もヒットしてくるためノイズが多くなります。また、医中誌では原著論文と判断される文献であっても、掲載している雑誌に「原著」や「原著論文」等の記載がないために漏れてしまうこともあります。

検索方法

● 医中誌…絞り込み条件で「原著論文」を選択し、キーワードを入れて検索

The screenshot shows the search interface of CiNii. At the top, there is a search bar and a '絞り込み条件' (Filtering Conditions) section. The '絞り込み条件' section is expanded, showing a grid of checkboxes for various filtering options. The '原著論文' (Original Paper) checkbox is highlighted with a red circle. Other checkboxes include '所蔵あり', '本文あり', '本文あり(無料)', '抄録あり', '最新の5年分に限定', 'OLD医中誌に限定', '会議録除く', '症例報告', '看護文献', '治療に関する文献', '診断に関する文献', and '副作用に関する文献'. The '原著論文' checkbox is the only one checked.

● **メディカルオンライン**…検索結果の右下に表示される「文献種別」で「原著」をクリック

検索結果

特定の雑誌を番号まとめて大量にダウンロードすることは禁止しております。

検索キーワードから **88件** ヒットしました。
(※ 自動分類を行うため、検索結果は最大500件までを表示します。)

1 - 10 件を表示中 ◀ 最初 ◀ 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 次へ ▶ 最後 ▶

2900誌以上の主要海外ジャーナルから「消化器がん領域」の最新論文をPick Up!! PR
日本語サマリ付の英文フルテキストを毎月配信しております☑
www.bayer-hv.jp (海外論文Pick Up / バイエル薬品株式会社)

コンパクトながら確かな改良を重ねた第37版。『今日の治療 2015』 PR
www.molcom.jp (メテオ・メディカルブックセンター)

(2) 仕事と治療の調和にむけて「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」報告書まとまる
川本利恵子1), 坂牧千秋2)
1)公益社団法人日本看護協会, 2)公益社団法人日本看護協会看護開発部教育制度課
ナースングビジネス 9(2): 142-143, 2015.

【アブストラクト】
【全文ダウンロード(1.21MB)】

1-L-07 地方がんセンターにおけるがん患者就労支援体制の構築
青備健二郎1), 谷水正人2), 宮内一恵3)
1)国立病院機構 四国がんセンター 臨床研究センター, 2)国立病院機構 四国がんセンター 内科, 3)
国立病院機構 四国がんセンター 看護部
日本医療マネジメント学会雑誌 16(suppl): 229-229, 2015.

【全文ダウンロード(1.80MB)】

(2) がんの相談支援と栄養

● **最新看護索引 Web**…条件検索画面で「記事」のプルダウンから「原著」を選択し、キーワード等を入力して検索

最新看護索引 Web 日本看護協会図書館 終了

簡易検索 条件検索 ヘルプ >フォルダを見る

クリア 検索

件名 参照 を含む 全て含む

標題 全て含む

特集 全て含む

著者 を含む 全て含む

雑誌 参照 を含む 全て含む

巻(号) ページ

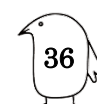
年月 年 月 ~ 年 月

分類

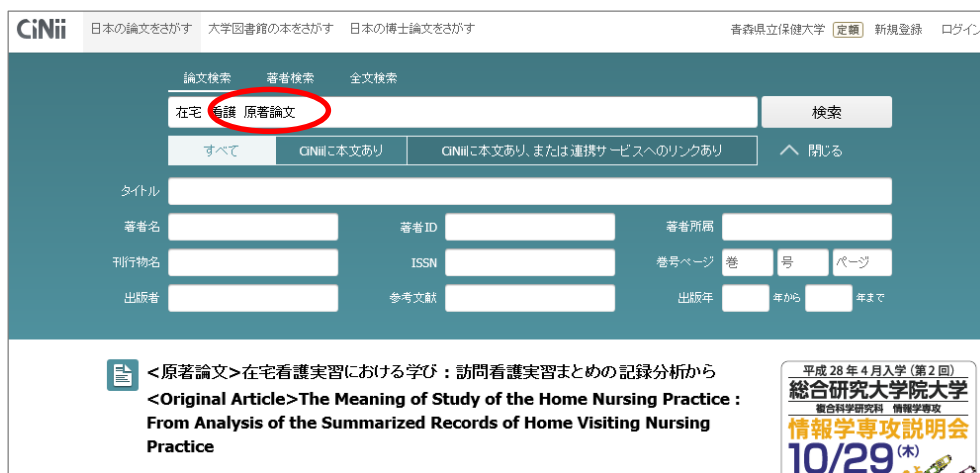
注記

記事 文献No

原著
研究
調査



- CiNii…キーワードに「原著」や「原著論文」を入れて検索すると原著論文もヒットするが、ノイズも多い



- JAIRO…資料種別を選んで検索することはできるが、原著論文での絞り込みはできない



今回は、PubMed を使った検索について紹介します。





図書館広報キャラクター「トリゾウ」

2011年3月、社会福祉学科成田悠介さん・福土悠輔さん・牧野祥諒さんのアイデアをもとに誕生。図書館の広報活動で活躍しています。



青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第25号

平成27年11月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/library/index.html>